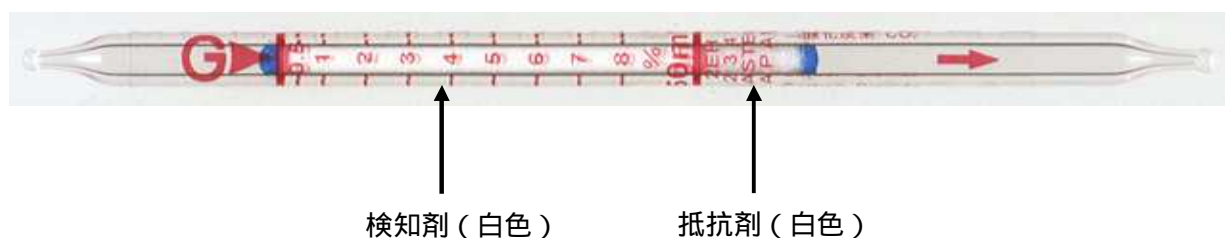


二酸化炭素検知管 No.2EH の構造

二酸化炭素検知管 No.2EH は、先端部から 検知剤（抱水ヒドラジンを多孔質シリカゲルに含浸 粒度の細かい白い部分）、抵抗剤（アルミナ 粒度の粗い白い部分）がガラス管内に充填されています。



- 人の健康に対する有害性

抱水ヒドラジン

MSDS 記載の通り。

アルミナ

接触することで皮膚に刺激、発赤が現れることがある。

目に入ると、発赤、痛みなどの症状が現れることがある。

吸入すると、咳、息苦しさなどの症状が現れることがある。

- 応急措置

抱水ヒドラジン

MSDS 記載の通り。

アルミナ

目に入った場合：直ちに多量の水で 15 分以上洗い流し、医師の診断を受ける。

皮膚に触れた場合：直ちに接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。

飲み込んだ場合：直ちに口をすすぎ、医師の診断を受ける。

以上